



D X による 観光データ活用等支援事業

令和 6 ・ 7 年度支援グループ 実施レポート（第 1 回）

令和 7 年 3 月 発行





本事業の目的と概要

目的

PURPOSE

- 観光地が抱える課題の解決のためには、経験や勘のみに頼った対応だけではなく、地域で区市町村・観光協会・観光関連事業者等が連携し、来訪した観光客に関する様々なデータの取得・分析を行い、観光客の実態やニーズを捉えた適切な施策を打ち出していくことが重要です。
- 本事業では、支援を通して、地域単位での持続的なデータ取得の体制を構築するとともに、分析ノウハウの浸透を図り、観光地での回遊性の向上や消費の最大化等の実現を目指します。

実施概要

SUMMARY

〈 支援内容は以下のとおり 〉

- ① 地域の観光客の実態等を明確化し、観光課題を設定
- ② 設定した課題を検証するために、多岐にわたる観光データの中から必要なデータを選定
- ③ 必要なデータを収集するための仕組みや体制の構築
- ④ 収集したデータを分析するための手法やノウハウの習得
- ⑤ データ分析結果に基づいた効果的な観光施策を立案・実施し、データによる施策効果の振り返り



事業の全体像と工程

- 本事業では、2か年度に渡り地域のグループにおける観光データ活用を伴走支援
- 各年度のゴールを設定し、地域のグループが目標を達成できるよう、計画的に事務局がサポート

1年目（令和6年度）

2年目（令和7年度）

令和8年度以降

ゴール
GOAL

データ取得及び分析体制の
構築

ゴール
GOAL

1年目で構築した体制をベースとし、
地域のグループ自らによる
データ活用の実現

支援
終了

支援準備

伴走支援

自走化支援

計画

- グループ内で課題を明確化
- 課題に応じた適切なデータの選定
- データ収集方法の検討

データ取得・分析

- データ取得体制の構築、データ分析

企画

- データ分析結果に基づき、地域の実情を把握
- 具体的な観光施策の見直し・立案

実施・改善

- 観光施策を実施
- 実施後のデータを振り返り、施策の改善

サイクルの継続

- 計画～実施・改善のサイクルを引き続き実施

自走化

- 支援グループの自走化に向けた組織課題（人材不足等）の解決

地域全体で連携し、持続的にデータを
収集・分析することで、効果的に観光
施策を実施



1年目の事業詳細

- 2か年度の1年目にあたる令和6年度は、伴走を前提とした「データ取得及び分析体制の構築」をメインテーマとして事業を推進
- 事務局による伴走支援のもと、実際に「課題に合わせたデータ選定」「データ収集」「データ分析」「分析結果に基づく観光施策の立案」までを実施
- データの収集・分析に必要なインフラやツールを導入し、それらを実際に活用しながらデータドリブンな意思決定プロセスを習得

2024年									2025年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

支援計画策定

伴走支援

支援グループ募集・決定

課題設定・データ選定

データの収集・分析

観光施策の立案

データ活用の流れ

地域全体の傾向把握

- ① 収集したデータを分析し、エリアの現状を把握
- ② ワークショップを通じて観光施策の大きな方向性を議論

地域の実態に合わせた企画

- ① 観光施策の実施内容・時期・効果検証の手法等を事務局と検討
- ② データを踏まえ、月1回以上のMTGにて施策を検討・協議



支援グループ

- 令和6・7年度の支援対象として、下記の代表組織を中心に構成された3グループを決定

代表組織	一般社団法人 中央区観光協会	青梅市	墨田区
グループ構成員	中央区	一般社団法人 青梅市観光協会	一般社団法人 墨田区観光協会
データ活用 に関する 課題 (一例)	属性・ニーズに応じたPR等 に必要となるエリアごとの 消費動向等の正確な把握	国内観光客の来訪実態（来訪 時期や属性など）や周遊状況 の正確な把握	訪日外国人観光客の 周遊状況や属性・ニーズ等 の正確な把握
地域の 代表的な 観光資源 (一例)	築地場外市場 浜離宮恩賜庭園 歌舞伎座 日本橋老舗 歩行者天国（銀座通り） 晴海埠頭 月島もんじゃストリート	御岳山、御岳溪谷 塩船観音寺 住吉神社 岩蔵温泉 吉野梅郷梅まつり 花しょうぶまつり	東京スカイツリー® 相撲文化（両国国技館） すみだ北斎美術館 江戸東京博物館 隅田川花火大会 隅田川をはじめとした舟運



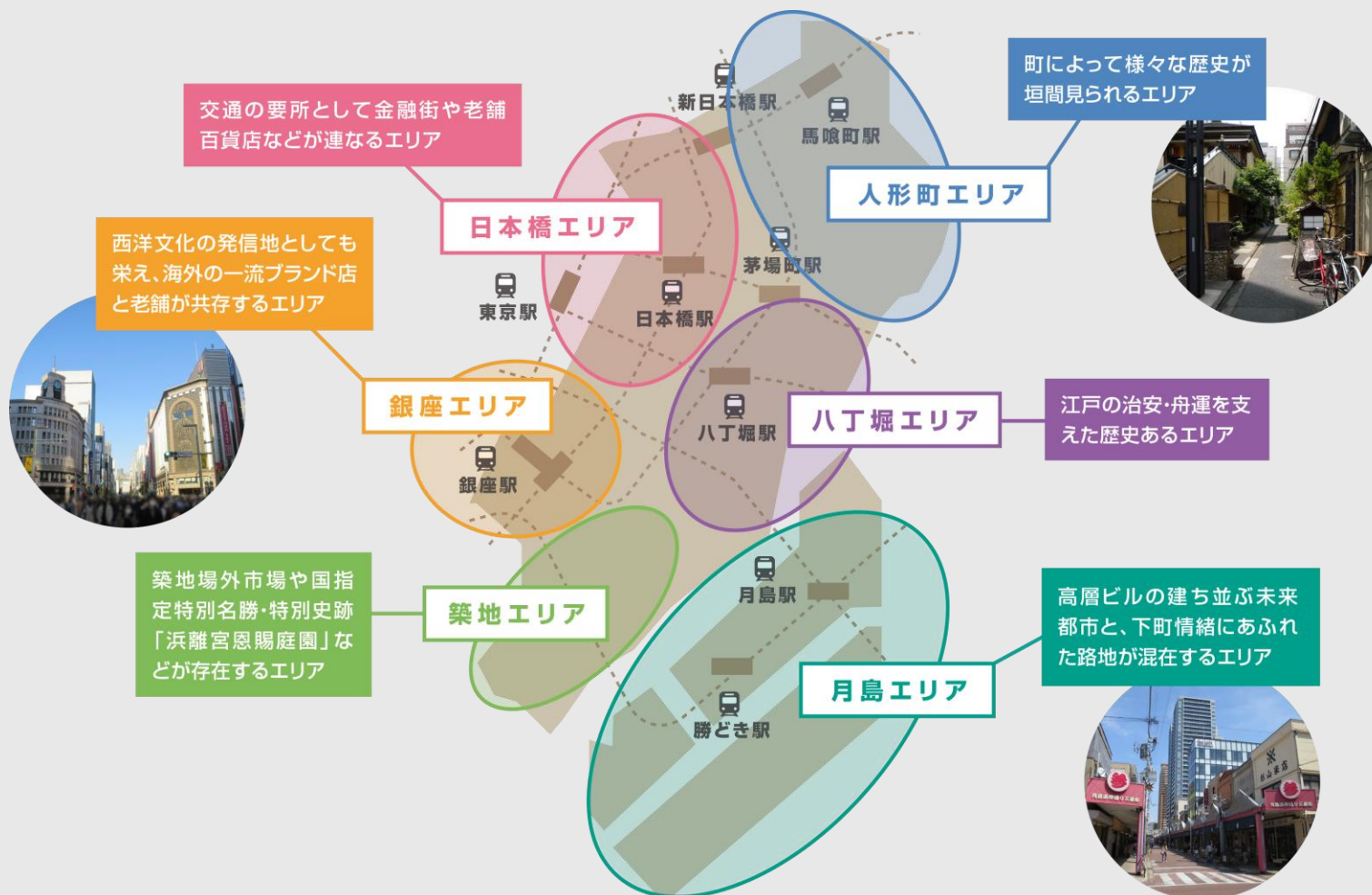
課題設定

- 支援対象グループからの申請内容、本事業の応募に至った背景、現場で感じられている課題、地域の代表的な観光資源、目指す姿などについて各グループと事務局でディスカッションし、課題設定
- データ収集・分析に移行

代表組織	一般社団法人 中央区観光協会	青梅市	墨田区
本事業で 目指す姿 	● 区内6つのエリアの特性を活かした、国内・国外観光客による更なる観光消費額の拡大	● 国内観光客を中心とした消費喚起施策の実行による来訪者増加と観光消費額の拡大	● 区内周遊の促進による国内・国外観光客による観光消費額の拡大
地域の課題 (仮説) 	● 国内・国外の観光客が銀座・築地・日本橋などの主要なエリア以外（人形町・八丁堀・月島エリア）の魅力に気づけておらず、そのエリアでの消費額に伸びしろがある	● 来訪・消費が特定のコンテンツ（御岳山などの登山・ハイキングなど）やイベント（梅まつりなど）に集中しており、来訪者の滞在時間も短い	● 国内観光客・訪日外国人観光客ともに、主要な観光スポット（スカイツリーや両国国技館など）への訪問がメインとなっており、区内における消費に偏りがある

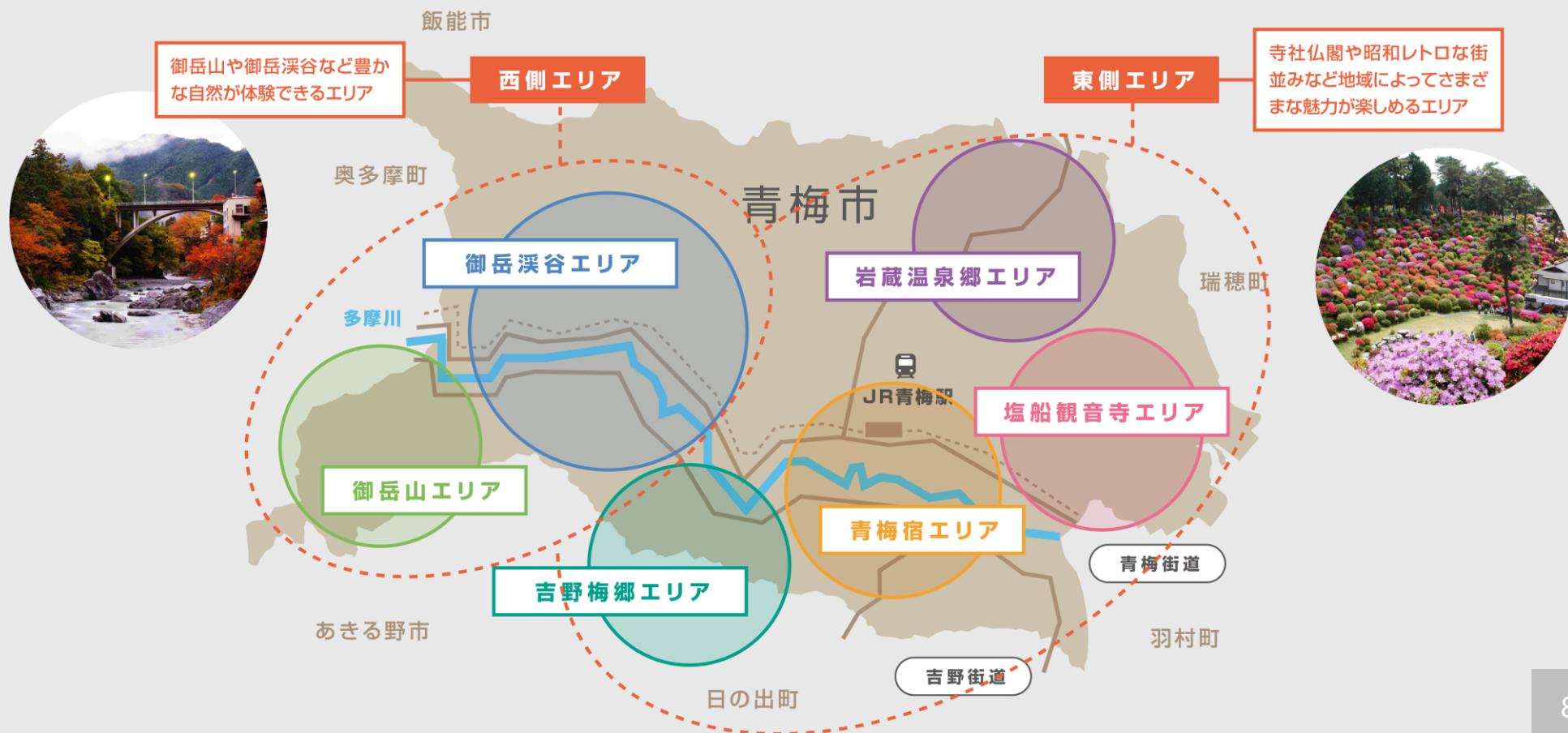
分析にあたってのエリア分け：中央区

- 地域内の現状把握の解像度を上げ、観光施策実施に係る注力エリアを限定するなど効果的な観光施策の立案・実施に繋げるべく、支援グループと協議の上で、地域を6つのエリアに区分けして、データ収集・分析を実施



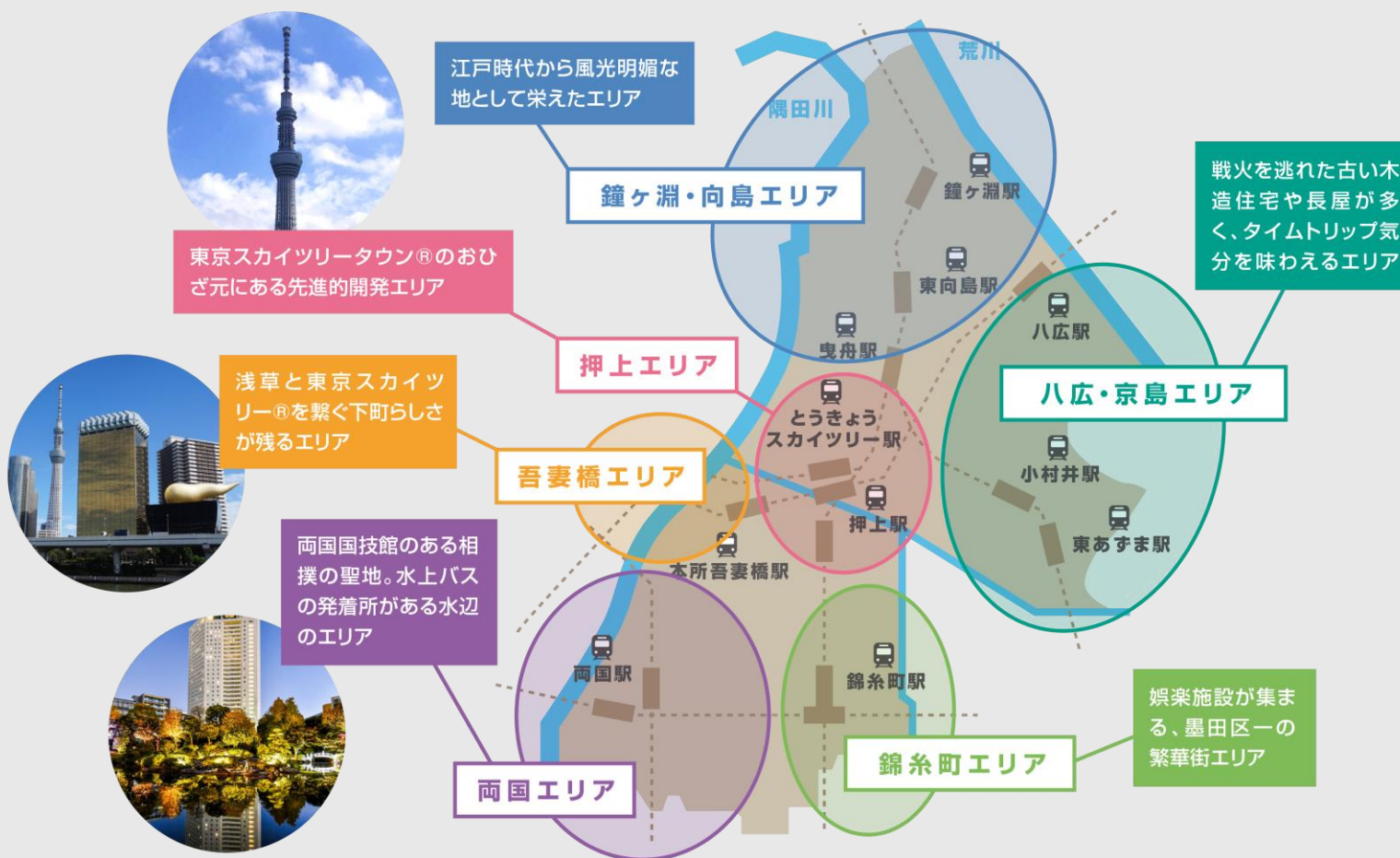
分析にあたってのエリア分け：青梅市

- 地域内の現状把握の解像度を上げ、観光施策実施に係る注力エリアを限定するなど効果的な観光施策の立案・実施に繋げるべく、支援グループと協議の上で、地域を2つのエリアに区分けして、データ収集・分析を実施



分析にあたってのエリア分け：墨田区

- 地域内の現状把握の解像度を上げ、観光施策実施に係る注力エリアを限定するなど効果的な観光施策の立案・実施に繋げるべく、支援グループと協議の上で、地域を6つのエリアに区分けして、データ収集・分析を実施





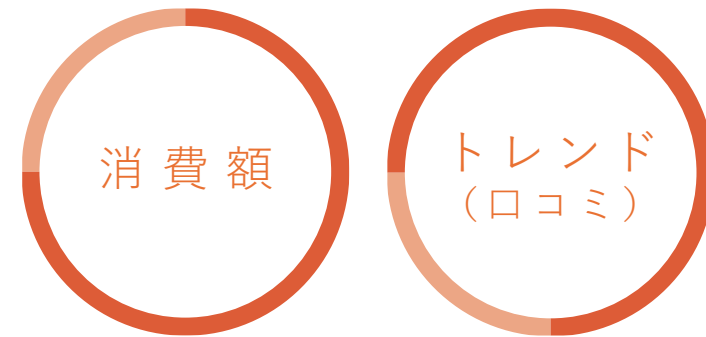
データ収集・分析ツール

- 各エリアにおける「人流」「消費額」「トレンド」を確認するために、国内・国外両方の人流データ分析ができる『おでかけウォッチャー』
決済統計データ・宿泊・遊び体験・口コミのデータを分析できる『じゃらんエリアダッシュボード』を使い、各エリアの現状把握と仮説検証を実施

おでかけウォッチャー



じゃらんエリアダッシュボード



国内版は月間3,000万人の位置情報データ、
訪日版は国内最大規模の訪日GPSデータ
を利用し、観光客の動向を発地や属性、周遊
等から分析できるサービス

旅行情報サービス『じゃらんnet』の「宿泊」、
「遊び・体験」、「口コミ」の統計データと、
お店の決済サービスの決済統計データを
可視化し、閲覧できるサービス



おでかけウォッチャー



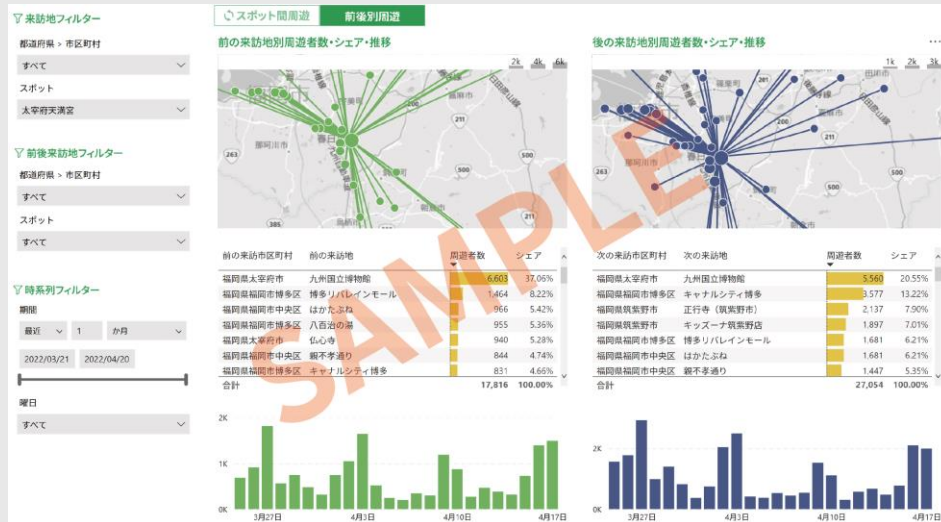
odekake-watcher

- 『国内版』では月間3,000万人の位置情報データ、『訪日版』では訪日外国人向けアプリ等のデータを統合した国内最大規模の訪日GPSデータにより、観光行政・観光マーケティングに必要となる現状把握や分析が可能
- 分かりやすい分析画面（市区町村⇄観光スポットの分析切替など）から、発地・属性・周遊など多角的な分析が可能

可視化イメージ（例）

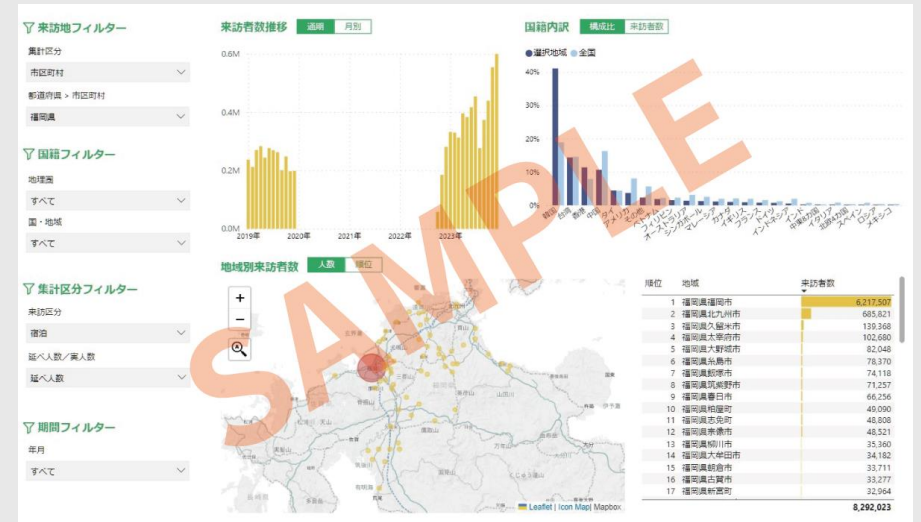
【国内版】

どことどこを周遊しているのか



【訪日版】

どの国籍の人が、どういう形で、いつ、どれだけ





じゃらんエリアダッシュボード



- 株式会社リクルートが所有するじゃらんの「宿泊」・「遊び体験」・「クチコミデータ」に加え、地域に設置されている決済サービスを通じた消費データを統合してダッシュボード化

データ情報

タビマエ

『じゃらんnet』に掲載されている宿泊施設、遊び体験施設における宿泊・利用実態統計データ

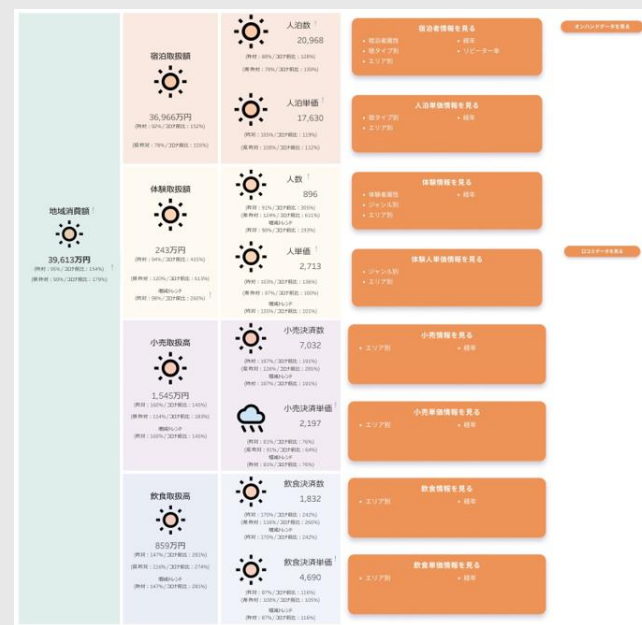
タビナカ

キャッシュレス決済統計データ

タビアト

『じゃらんnet』の「観光ガイド」に掲載されている観光スポット、ご当地グルメ、イベント、お土産などの口コミ件数や評価などの実態統計データ

ダッシュボード化



※提供する全てのデータは、利用者個人が特定できないような形式で提供



観光施策の立案

データ分析の結果を踏まえ、専門家も交えたワークショップを2024年12月～2025年1月に各グループで開催

	一般社団法人中央区観光協会	青梅市	墨田区
テーマ	- 観光施策実施に係る注力エリアの絞り込みに向けた強みと弱みの整理 - 各エリアの観光資源の再確認	- インバウンドマーケティング - 観光客のニーズに沿ったコンテンツ磨き上げ	- 行政とDMOが連携したデータ活用 - 地域で実践する具体的なDMOマーケティング
専門家	株式会社バリュークリエーション サービス代表取締役社長 佐藤真一 氏 地域プロデュース ／ブランディング 	じゃらんリサーチセンター研究員 松本百加里 氏 インバウンド 研究 	じゃらんリサーチセンター研究員 DMO法人（一社）気仙沼地域戦略 理事 森成人 氏 DMO研究 
参加者の感想	有識者とのワークやディスカッションにて新たな地域の魅力（新たな観光資源の候補）を見出すことが出来た。	- 自分たちの肌感覚と現実とのギャップを知ることができた。 - インバウンドだけでなく、国内観光客の誘客強化もすべきとの方向性が明確になった	- 地域でデータを共有する仕組みについて、分かりやすく参考になった - データを地域で共有する仕組みづくりやスキルを磨くことが重要とわかった。
当日の様子			

令和 7 年 3 月発行

編集・発行 東京都産業労働局観光部受入環境課

受託者 株式会社リクルート（「DXによる観光データ活用等支援事業」事務局）

